

「原爆文学研究」投稿規定

一、原爆文学研究会の機関誌として会員からの意欲的な投稿を歓迎します。会員以外の原稿掲載については編集委員会で判断します。

二、投稿に際しては、住所・電話番号を明記の上お送り下さい。原稿は返却いたしませんので、お手元に控えをお残し下さい。

三、パソコン等を使用の場合はプリンタアウト原稿にデータファイルを添付の上お送り下さい。

四、原稿は、新字のあるものはなるべく新字を用い、注の形式等は既刊のものに準拠してください。

五、投稿者は各自の原稿一頁（機関誌の書式）につき一〇〇〇円を発行経費として負担することをご了承下さい。

六、次号（20号）の締切は、二〇二二年九月三〇日です。

「原爆文学研究」編集委員

岡村幸宣 加島正浩 川口隆行

楠田剛士（編集長） 坂口博 中野和典

長野秀樹 野坂昭雄 堀本嘉子

柳瀬善治（副編集長） 山本昭宏（副編集長）

李文茹

編集後記

二〇二〇年の新型コロナウイルス感染症の流行は会の活動にも影響を及ぼしました。三月に北九州市で予定していた第六一回を八月に延期し、感染拡大防止のため初めてオンラインで開催しました。九月に神戸市で予定していた会も延期、一二月の会を第六二回としてオンライン開催することになりました。

毎号、研究会での発表と企画をできるだけ誌面化しようとしています。例年よりも会が一回少なく、一日開催が続いたため、本号の編集前は投稿が少ないのではないかと心配していました。しかし意欲的な論文が多く寄せられ、ワークシヨップも誌面化することができ、これまでと変わらない厚さと密度の雑誌ができました。図書館・資料館の利用が制限され、県外への調査や長期の出張が難しい状況のなかで執筆いただいたみなさまと、会員外からご寄稿いただいた藤田祐史氏、樫本由貴氏に感謝申し上げます。

新入会員や会員外からの投稿はありがたいことですが、一方でこれまで長く参加してきた会員からの投稿がやや少ないようにも感じます。二〇二一年で会が発足して二〇周年になります。刊行一年後に論文をPDFファイルで公開するというオンライン発信に取り組んできた本誌も二〇号を迎えます。コロナ禍で多忙のこととは思いますが、会員各氏の力のかもった論考をぜひお寄せください。

（楠田剛士）

原爆文学研究

二〇二〇年一月一九日発行

編集

原爆文学研究会

福岡市城南区七隈八一一九一

福岡大学人文学部

中野和典研究室気付

発行

（有）花書院

福岡市中央区白金二一九一二

〒815-5506

〒915-5441

定価 一、二〇〇円（本体一〇九二円）

◇書店にない場合は「地方小出版流通センター扱い」とご指定の上、書店にご注文下さい。

◇継続購読は、花書院「原爆文学研究係」にお申し込み下さい。送料は無料となります。